

【ASP セラピー説明書】 **重要**

初めて ASP セラピーを受療される方へ

1) ASP セラピーの目的と対象

目的: 即効性のある痛みの緩和を提供し、従来の薬物治療を補完または置き換えることが期待できます。

対象: 急性及び慢性の痛み、手術後の痛み、外傷性ストレス障害（PTSD）や不安症状の緩和などです。

2) ASP セラピーの特徴及び注意点

ASP 鍼を使用した耳鍼療法です。施術後 2 日～1 週間鍼を刺したまま（留置）して効果を持続させます。

2 日～1 週間経過後に経過観察と抜鍼処置のため必ずご来院下さい。

ASP 鍼が外れた場合は蓋の付いた容器に入れて当院までご持参下さい。医療廃棄物として適切に廃棄します。

- ①一般的な留置鍼（円皮鍼・皮内鍼）に比べて、刺入する鍼が大きく、侵襲及び刺激量が大きくなります。
- ②円皮鍼・皮内鍼に比べて体表に出ている部分が大きいため、掻く、擦る、押すなど ASP 鍼に触れると鍼先が動き、刺鍼部分の発痛、組織損傷、出血及び ASP 鍼が抜け落ちる場合があります。
- ③体調や体質により、以下の症状（副作用）が出現することがあります。
 - ・感染、化膿、痒み、赤み、腫れ、暖かさ
 - ・鍼が挿入されたことによる痛み、出血
 - ・めまい、吐き気、失神、陶酔感
- ④抜鍼後に皮膚に傷跡が残る事があります。
- ⑤心筋梗塞、脳梗塞、深部静脈血栓症、肺塞栓症などの持病があり、ワーファリン等の抗凝固剤（血液をサラサラにする薬）を服用している方には施術できません。
- ⑥刺鍼予定部位に皮膚病がある方と、人工弁の手術をした方、血友病の方には施術できません。
- ⑦糖尿病の方への施術は注意を要しますので主治医及び施術担当はり師にご相談ください。
- ⑧妊娠中または妊娠の可能性のある方は、主治医及び施術担当はり師にご相談ください。

3)ASP セラピー施術後に必ず守っていただきたいこと

- ・普段通りの生活をしていただいても構いませんが、施術後 6～12 時間は過度の運動を避けてください。
- ・施術後、飲酒や激辛食品の摂取は 6 時間、激しい運動は 12 時間、シャワーや入浴は 24 時間、プール温泉や海水浴は 48 時間控える事を当協会は推奨しています。
- ・耳を洗ったり、乾燥させたりする時に鍼を引っ張らない様に注意してください。
- ・むやみに耳を触って刺激しないでください。
- ・病院等でMRI（磁気共鳴画像）撮影をする際は必ず抜鍼処置にお越しください。（ASP 鍼の刺鍼部位に火傷を負う可能性と、機器および検査に多大な影響を及ぼす可能性があります）
- ・ASP 鍼が外れた場合は蓋の付いた容器に入れて当院までご持参下さい。

4) ASP セラピーの効果について

施術効果には個人差があります。特に以下のような場合、効果が現れにくい、症状の「もどり」が早い、施術期間が長期に及ぶなどの可能性があります。

- ・身体の構造上の問題による痛み

- ・重篤な疾患による痛み
- ・強力な、あるいは多種の薬剤服用
- ・高齢・衰弱による生理機能の低下
- ・取り除けない物理的刺激要因（例）体内に異物が入っている場合など
- ・各種心理的要因

ASP セラピーの施術効果は強力ではありますが、万能ではないことをご承知おきください。

Acupuncture Today – April, 2009, Vol. 10, Issue 04 アメリカの鍼灸の専門紙で 75%の患者に疼痛の軽減があったと報告されております。

<https://www.acupuncturetoday.com/mpacms/at/article.php?id=31917>

なお、この報告によって効果を保証するものではありません。

5)ASP セラピーへの施術同意と中止の自由について

本施術を受けるかどうかについては、よく考えていただき、あなた自身の自由な意思でお決めください。

本施術を受けることに同意された後、もしくは本施術が始まった後でも、いつでも施術の継続を中止することができます。

6) 施術中及び施術後の免責について

施術中や施術後に、痛みや体調の異常を感じられたら、直ちにお申し出ください。また、必要に応じてご自身の判断及び費用で医師による適切な診察を受けて下さい。

なお、施術後の痛みや不調に関しては、施術者の施術操作及び施術手順に原因があると明確にわからない限りは、いかなる場合も返金、賠償には一切応じることは出来ません。

7) 費用負担について

ASP セラピーは、はり・きゅう療養費の適応ではありません。

8) 施術情報提供について

私たちは施術の成果や施術中に起きた問題などについて、経験を共有することで鍼灸施術方法の検討や安全性などの水準を向上したいと考えています。そうした目的のために患者さんの施術情報（症状経過、施術内容など）を、患者さん個人が特定されない形にして（個人情報を保護して）、発表や報告に活用させていただくことをご了承くださいますようお願いいたします。

9) お問い合わせ窓口

本施術に関するご質問及び緊急に対応が必要な場合は下記までご連絡ください。

一般社団法人 日本 ASP セラピー普及協会 会員 医師